



LEBO木製ドア 施工説明書

スライディングドア(インセット)用

この度はドイツLEBO木製ドアをご購入頂き、誠にありがとうございます。
施工を行う前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しく施工してください。
施工後も大切に保管してください。

<ご注意>

- ・施工前に、部材・部品の有無、傷の有無をご確認ください。
- ・納入後の傷に対しての責任は、当社では負いかねます。
- ・部材を保管する際には、直射日光、湿気をさけてください。

MN-LEBO-SI03

ドア施工手順

●引戸の施工は、以下の手順を参考に行うと作業がスムーズに行えます。

パーツリストの確認	1
取付け壁面開口部寸法の確認	2
方立(枠)の組立	3
見切(ケーシング)の組立	4
化粧シールの貼り付け	5
戸当りの取付	6
スライドレールの取付	7
スライドガイドの取付	8
ドアブラケットの取付	9
ドアの取付及び調整	10
ストッパーの調整	11
壁の施工	12
方立(枠)の取付	13
発泡接着剤の注入	14
見切(ケーシング)の取付	15
ドア調整方法	16

●施工には下記の工具が必要となります。お客様にてご用意ください。

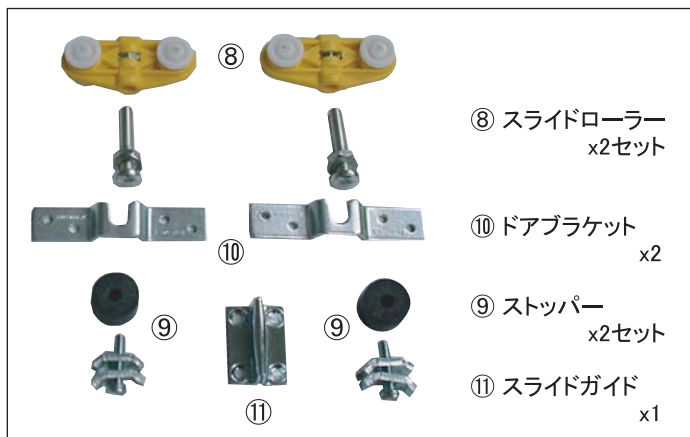
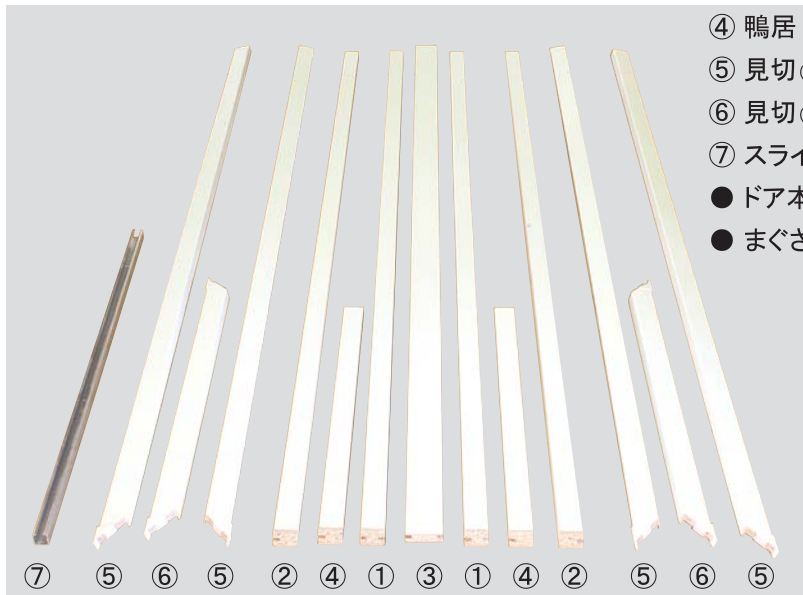
- ・木工用ボンド
- ・プラスドライバー
- ・マイナスドライバー
- ・ハンマー
- ・6mm、13mmスパナ
- ・木ビス、クギ、他

手順 1

パーツリストの確認

◆ 部材・部品の数量及び傷の有無を確認してください。

- ① 方立 戸当り側 x2
- ② 方立 引込み側 x2
- ③ 戸当り(センター用) x1
- ④ 鴨居 x2
- ⑤ 見切(ケーシング)(大) x4
- ⑥ 見切(ケーシング)(小) x2
- ⑦ スライドレール x1
- ドア本体(写真無し) x1
- まぐさ化粧用シート x1

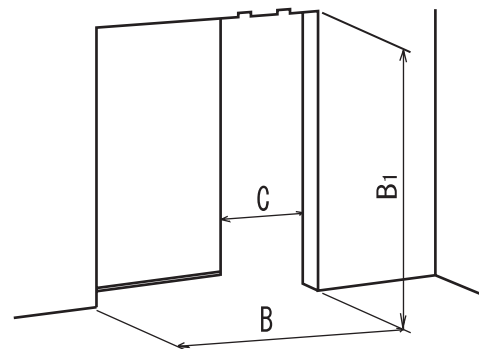


ⓘ 開梱時のカッター等の使用には、中の製品にキズを付けない様十分ご注意ください。

手順 2

取付け壁面開口部寸法の確認

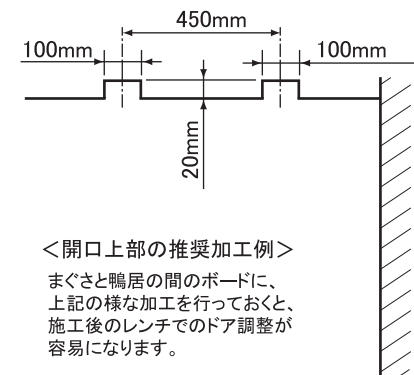
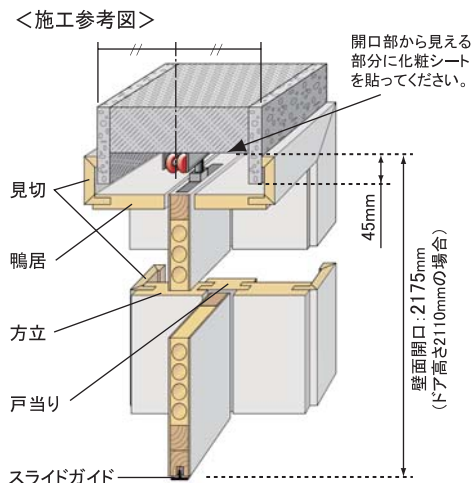
◆ 取付け壁面開口部寸法と、壁内のクリアランスをご確認ください。



ドア寸法	壁面開口部寸法 (BxB1)	(C)
735 x 2110	1470 x 2130 (+45)	750
860 x 2110	1720 x 2130 (+45)	875

ⓘ 施工及びメンテナンス時を考慮して、ドアが壁内に収まるどちらかの壁面は開いていること。
(最低でも片方の壁面が開いていないと施工が出来ません)

施工の一例

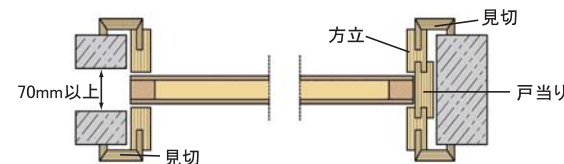


使用する工具及び発砲接着剤



木工用ボンド、マイナスドライバー、ハンマー、発砲接着剤(別売)、木ビス(72mm、65mm)

ⓘ 壁内は、70mm幅以上のドアが収まるクリアランスが必要です。

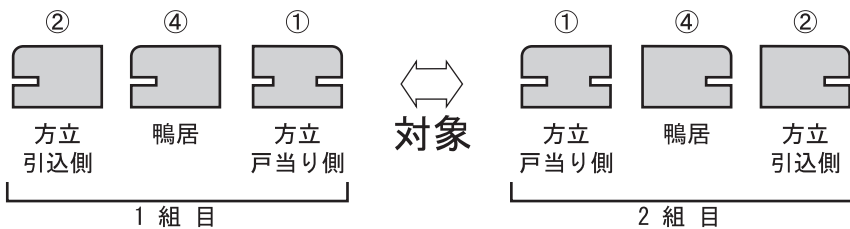


対応壁厚サイズ	壁厚
140	140 ~ 160

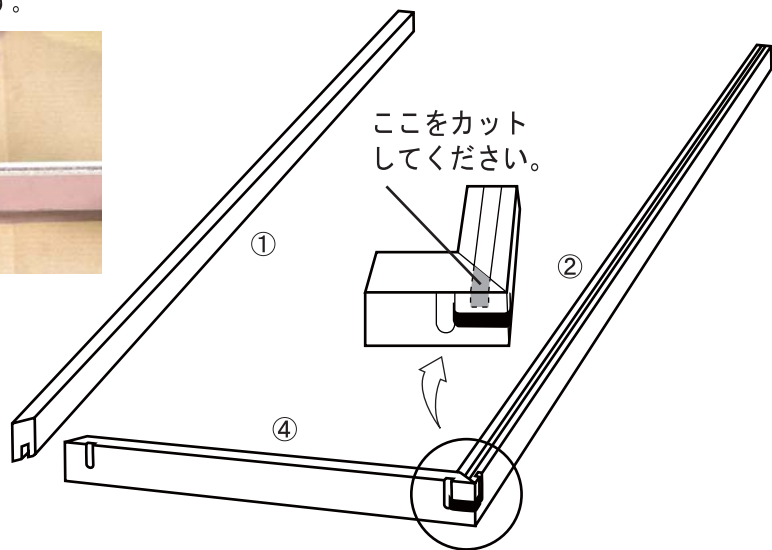
手順 3

方立(枠)の組立

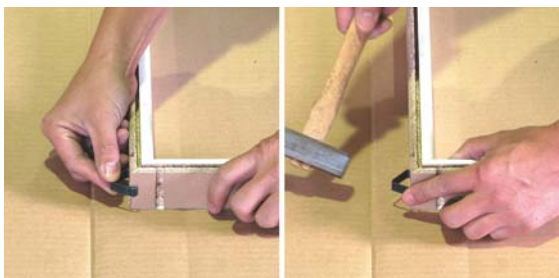
◆インセットドアの枠（方立）は表裏対象で2組分あります。溝の向き、R面などに注意して組み合せてください。



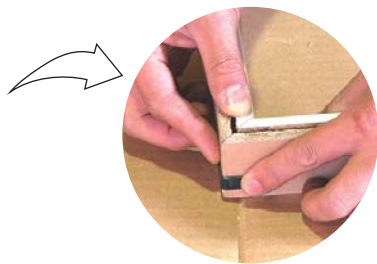
- 1 鴨居④の左右の斜め切断面に接着剤を塗布し、①・②の接合面を合わせます。



- 2 接続したコーナーに、方立接続金具⑩をハンマー等で溝に軽く打ち込んでください。



接合部のズレに注意

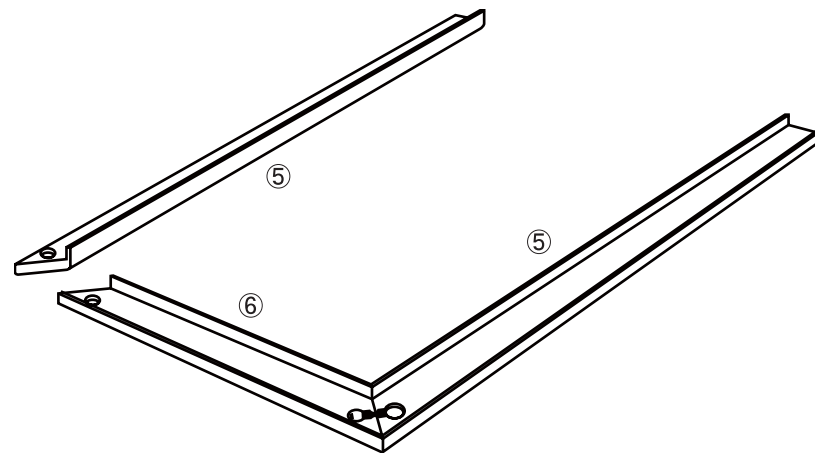


手順 4

見切(ケーシング)の組立

◆2組分の見切(ケーシング)を組み立ててください。

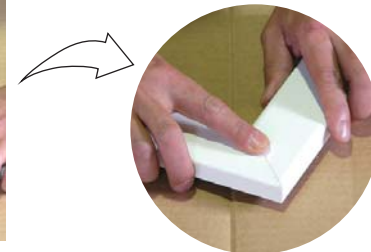
- 1 見切(ケーシング)(小)⑥の斜め切断面に接着剤を塗布し、⑤との接合面を合わせます。



- 2 見切接続金具⑬をはめ込み、ドライバー(-)で樹脂部分を回転させて固定します。



正面合わせのズレに注意

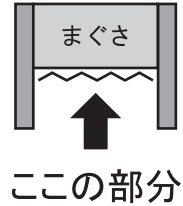


! 組立て後は、接着剤が硬化するまで保管してください。硬化していないとズレることがあります。硬化時間については、ご使用の接着剤の説明書をよくお読みください。保管の際には、壁などに立て掛けないでください。

手順 5

化粧シールの貼り付け

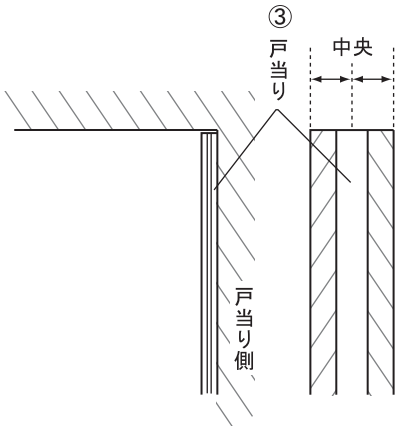
◆ 付属の化粧シール(白)を、開口部の下から見えるまぐさの部分に貼り付けてください。



手順 6

戸当りの取付

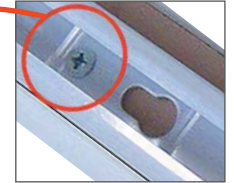
◆ 戸当り③を、開口部戸当り側中央に、接着剤などで固定してください。



手順 7

スライドレールの取付

1 スライドレール⑦の端面を戸当りに付けた状態で、壁厚の中央にビスで固定してください。

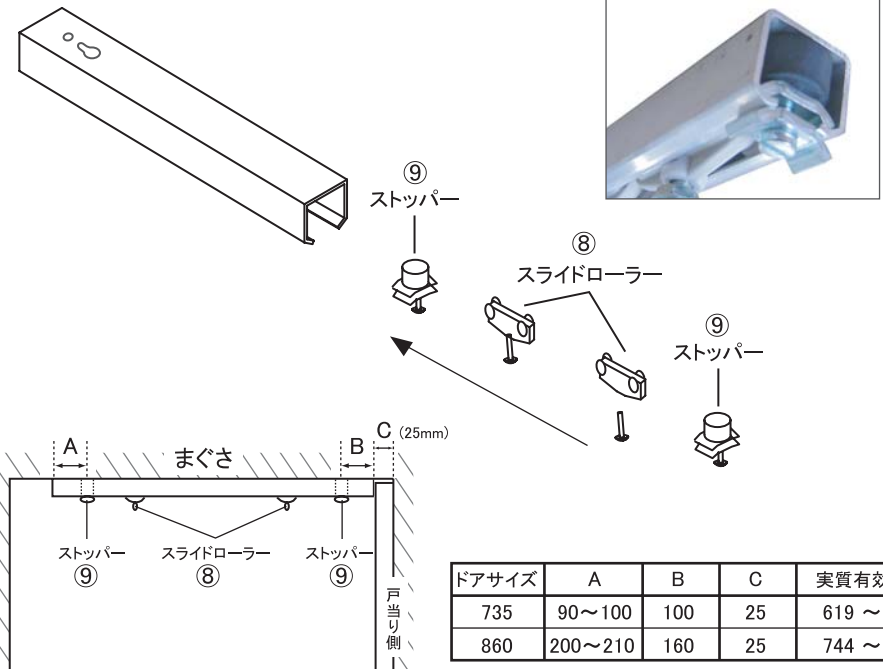


ビス穴をご使用ください。

① ビスの頭は、スライドローラーのボルト先端と干渉しないようにねじ込んでください。

2 付属のストッパー⑨と、スライドローラー⑧をレールに挿入します。

<ストッパーの挿入方法>



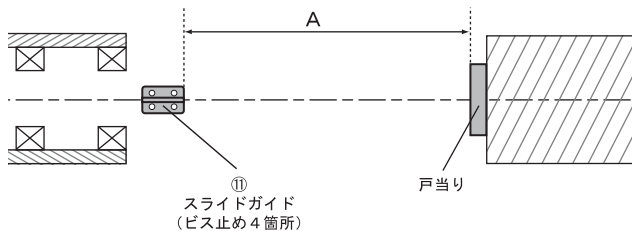
	(mm)			
ドアサイズ	A	B	C	実質有効開口
735	90~100	100	25	619 ~ 629
860	200~210	160	25	744 ~ 759

※ A寸法を変更する事により、実質有効開口が変わります。

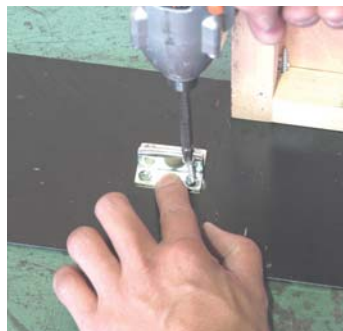
手順 8

スライドガイドの取付

◆敷居となる部分の壁厚み中央で、戸当りからA位置にスライドドアガイド⑩を取り付けてください。



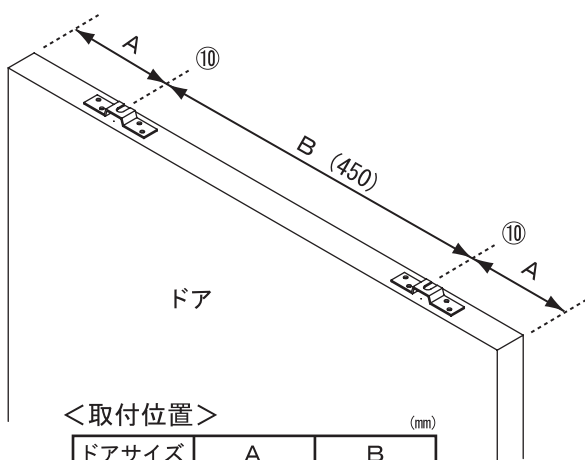
ドアサイズ	A (mm)
735	670
860	795



手順 9

ドアブラケットの取付

◆ドア上面に、ドアブラケット⑩の向きを揃えて、ビスで取り付けてください。(ビスはお客様にてご用意ください)



<取付位置>

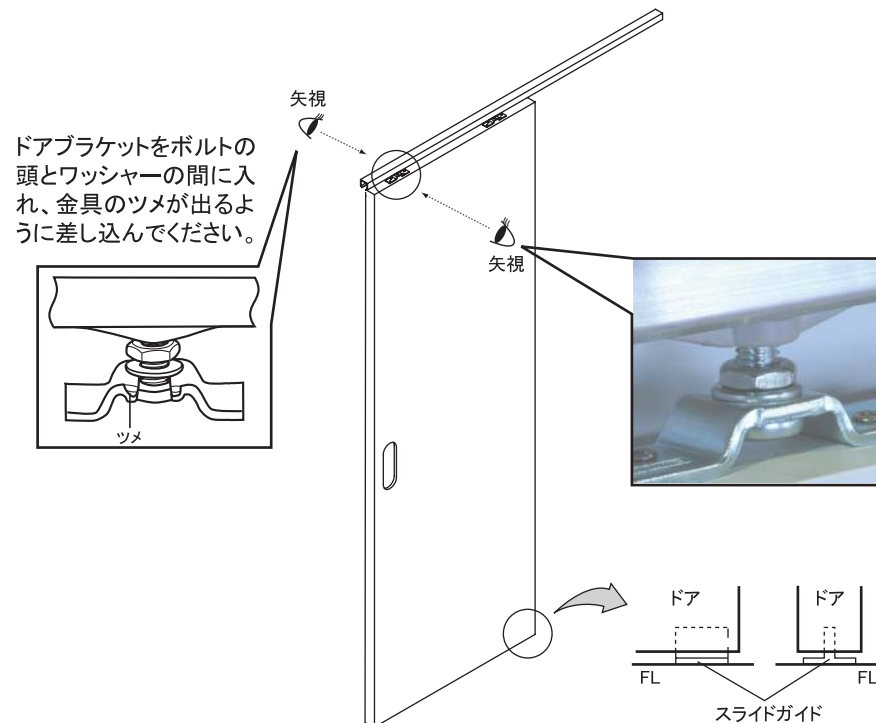
ドアサイズ	A (mm)	B (mm)
735	142.5	450
860	205	450



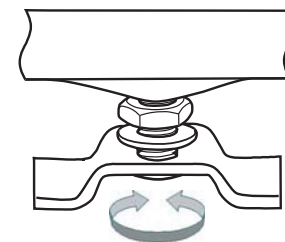
手順 10

ドアの取付及び調整

1 ドア底面の溝にスライドガイドの先端を入れながら、スライドローラーのボルトにドアブラケットのU字部を入れます。



2 ドアの傾きや、引き残しを確認してください。必要があれば、手順16にて調整してください。



手順 11

ストッパーの調整

● 手順8-2で固定した、ストッパー⑨の位置を調整してください。

戸当り側ストッパー⑨の固定位置は、ドアの当り具合をお好みに応じて、後で微調整してください。

戸袋側のストッパー⑨は、引き残しを確認しながら調整してください。



❗ 壁内のストッパーは、施工後の調整が難しい構造ですので、この工程の時点で位置決めと、固定を確実に行ってください。

手順 12

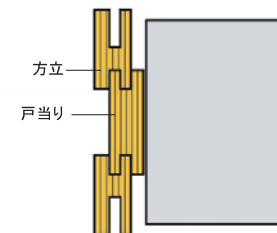
壁の施工

◆この時点で、戸袋の片面を施工してください。

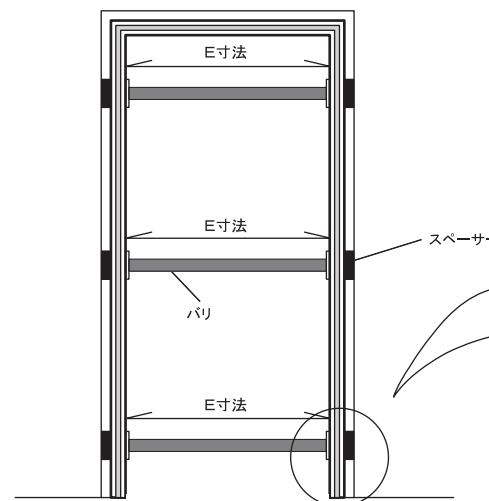
手順 13

方立(枠)の取付

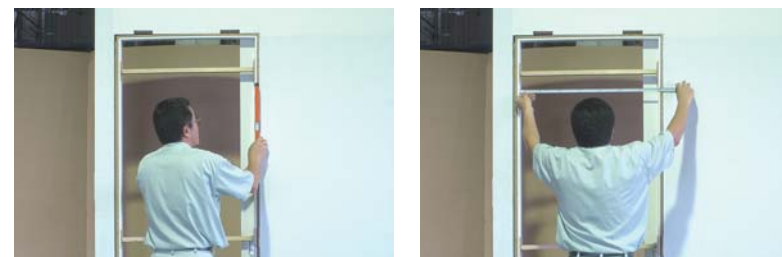
1 手順4で組み立てた方立(枠)の、三方に溝がある面を外側にしてはめ込み、収まりを確認してください。



2 ドア内側のサイズ(E寸法)に合ったバリを6本と、10cm角程度のベニヤ等のスペーサー(パッキン材)をご用意ください。



ドアサイズ	E寸法
735	684
860	809

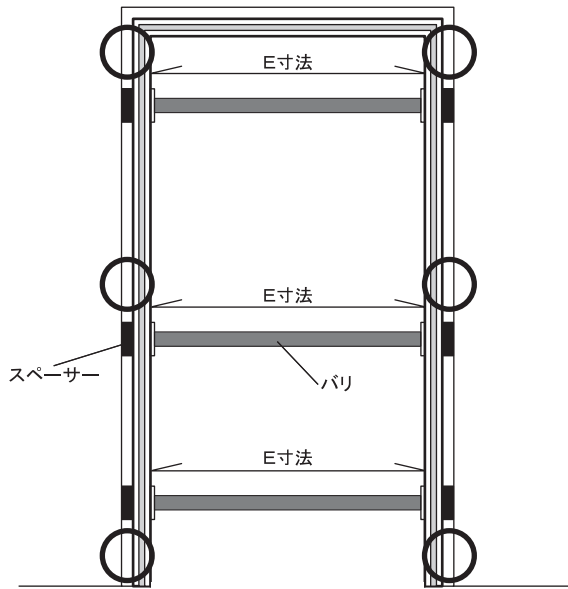


仮固定された枠の水平、垂直、内側開口寸法を確認してください。

手順 14

発泡接着剤の注入

- 発泡接着剤に添付された注文書・説明書をよく読み、取扱いや保管には十分ご注意ください。



左記指示箇所辺りに発泡接着剤を注入してください。



※発泡接着剤は、最初に少し試し出してください。

- 発泡接着剤は、左右それぞれ3箇所を20cmほどの長さで注入するのが目安です。(決して全体には入れないでください)
- はみ出た発泡接着剤は、硬化後にカッター等で製品にキズをつけないように注意して切除してください。

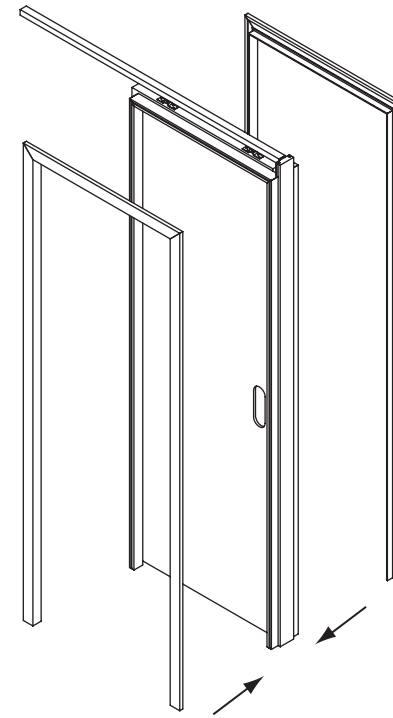
❗ 発泡接着剤が固まるまでの時間は、1時間半が目安です。

(ただし、温度や湿度によって変わります。なお、発泡接着剤の使い方については、発泡接着剤の取扱説明書をご覧ください。)

発泡接着剤は二液式のため、短時間で硬化を開始し、ノズルが詰まって使えなくなることがあります。ドア施工が複数枚の場合は、あらかじめすべてのドア(ヒンジ)調整が完了した後に注入してください。

手順 15

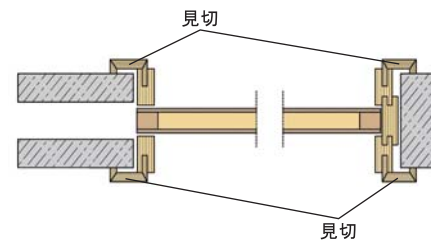
見切(ケーシング)の取付



1 手順5で組立てた見切を、裏表共に取り付けてください。



❗ 今後のメンテナンスを考えて、見切りはクギやビス、接着剤等での固定はしないでください。

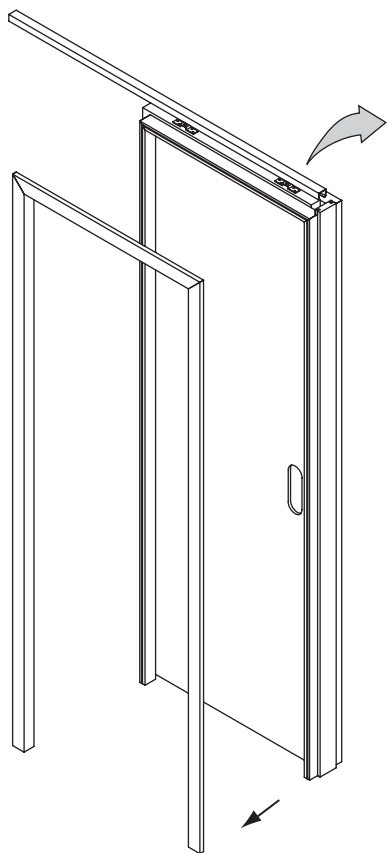


- 2
- ・ドアを閉じたときに、余り強く戸当りにぶつからないように、ストッパーの位置を調整してください。
 - ・ドアの開閉具合を確認し、問題が無ければ完成です。
 - ・調整の必要があれば『施工後の調整』にて行ってください。

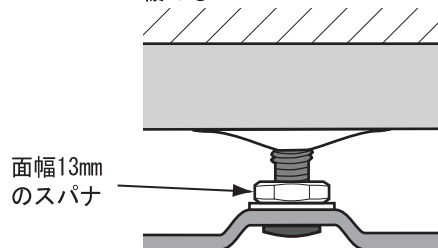
❗ **5**で組み立てた接着剤の硬化時間を、接着剤の説明書等でご確認ください。充分硬化していないと、トメ部にズレが生じることがあります。

ドアの調整方法

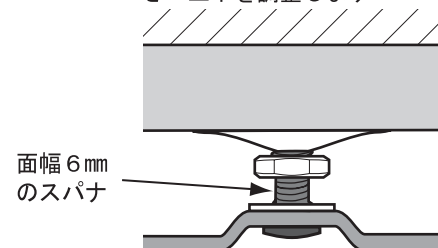
■ ドアの上下・傾きを調整する場合、片側の見切を取り外して作業を行います。



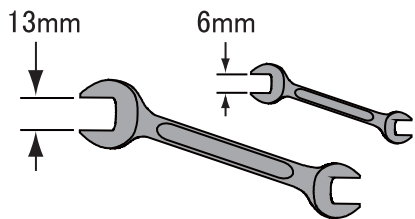
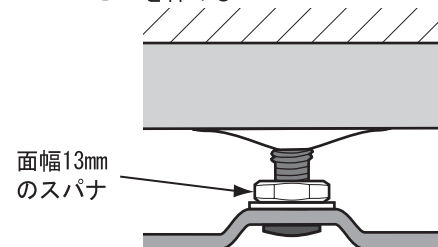
1 面幅13mmのスパナでナットを緩める



2 面幅6mmのスパナでボルトの切り欠き部を回し、ドアの傾き・上下を調整します

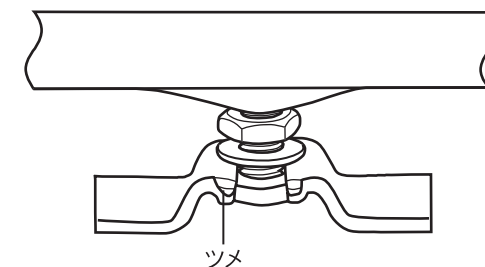
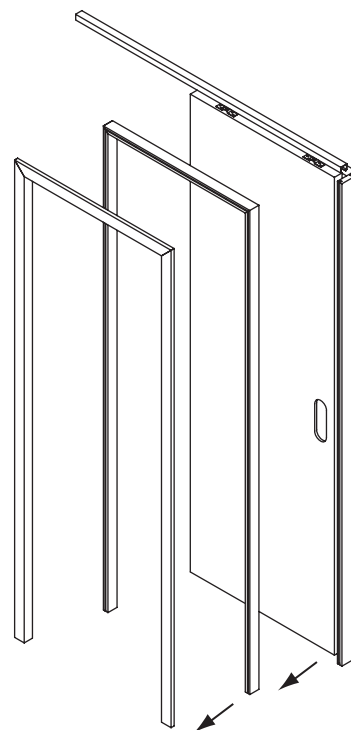


3 再び面幅13mmのスパナでナットを締める



使用するスパナ(薄型の面幅6mm、13mm)は、お客様にて手配願います。

■ ガイドの位置調整等、ドアを取り外す場合、見切・方立を取り外してください。

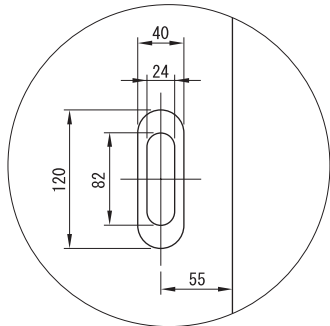
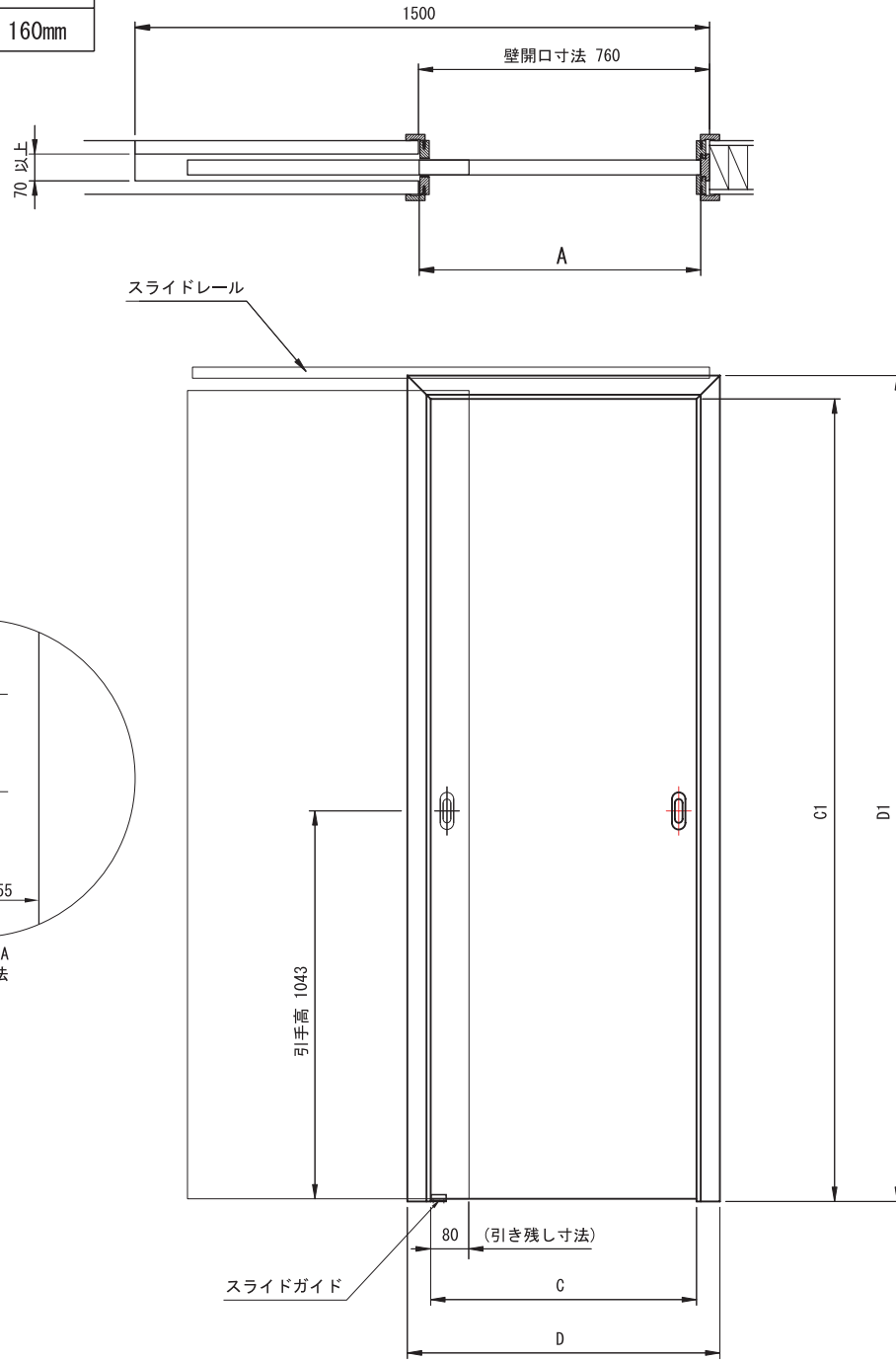


ドア吊り金具は、外れ防止の為ツメが施されています。
ドアを取り外す場合は、ナットを上限まで緩めてからドアを上げながら手前に引くと、比較的容易に外せます。

Sliding Door (スライディングドア インセットタイプ) 収まり図

ドア枠対応壁厚

壁厚タイプ	対応可能壁厚
140	140 ~ 160mm



Detail:A
引手寸法

収まり寸法

品番	ドア (AxA1)	扉枠開口寸法 (CxCl)	扉枠外寸法 (DxD1)	重量
SEV2N735-△WL	735 x 2105	694 x 2095	816 x 2156	28kg
SEV2N860-△WL	860 x 2105	819 x 2095	941 x 2156	32kg

